

② 高等学校 商業

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

1 次の文章を読み、(1)～(4)に答えなさい。

〇〇農園は、「心のこもった甘～いイチゴ」をキャッチフレーズにして、次の①～④のいちごの販売戦略をとることにした。

- ① 新聞やチラシに広告を出し、新しいブランド名を募集した。応募者の中から最終選考に選ばれた10名を、〇〇農園のイチゴ狩りに家族で無料招待する。
- ② 役場や駅でチラシを配布して、新ブランドのイチゴをPRする。
- ③ イチゴ狩りにチラシを持参したお客様には、練乳やティッシュペーパーなどの粗品を提供する。
- ④ 新聞社やテレビ局・ラジオ局などに情報を提供して、ニュースや記事として扱ってもらうよう働きかける。

(1) ①のようなものを何というか、適切なものをア～ウから選び、その記号を書きなさい。

ア 消費者モニター イ 消費者プレミアム ウ 消費者コンテスト

(2) ②を広告としてみた場合、特性としてどのようなことがあげられるか、適切なものをア～ウから選び、その記号を書きなさい。

ア コストは高いが、繰り返し行うことにより効果が高まる。
イ コストは低いですが、広告の訴求範囲は限られる。
ウ コストはゼロだが、効果は期待できない。

(3) ③を広告としてみた場合、これを何というか、書きなさい。

(4) ④のような活動を何というか、適切なものをア～ウから選び、その記号を書きなさい。

ア パブリシティ戦略 イ メディア戦略 ウ フィードバック戦略

2 次の文章を読み、(1)～(4)に答えなさい。

(全7枚中の2枚目)

② 高等学校 商業

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

3 次の(1)～(5)に答えなさい。

(1) 以下の条文は何という法律に定められているか、書きなさい。

第三条 製造業者等は、その製造、加工、輸入又は前条第三項第二号若しくは第三号の氏名等の表示をした製造物であつて、その引き渡したものの欠陥により他人の生命、身体又は財産を侵害したときは、これによって生じた損害を賠償する責めに任ずる。ただし、その損害が当該製造物についてのみ生じたときは、この限りでない。

(2) 普通銀行の主な業務を3つ書きなさい。

(3) 注文した商品が到着した際に行う「検収」とはどのようなものか、具体的な手続きを説明しなさい。

(4) 10進数の21と2進数の11100001を加算し、16進数で書きなさい。

(5) 次に示した事柄を古い順に並べ、記号で書きなさい。

- ア 香港が中国に返還
- イ リーマンショック
- ウ WTO発足
- エ ベルリンの壁崩壊
- オ ユーロ紙幣・硬貨の流通開始

② 高等学校 商業

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

4 次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 次の取引と資料から仕入帳を作成し、締め切ちなさい。ただし、戻しの記帳および締め切り線についても黒色で記入すること。

取引

6月7日 YY商店に商品を売り渡し、代金は掛けとした。

B品 180個 @¥450 ¥81,000

9日 ZZ商店から商品を仕入れ、代金は現金で支払った。

A品 100個 @¥920 ¥92,000

15日 ZZ商店から商品を仕入れ、代金のうち¥50,000は小切手を振り出して支払い、残金は掛けとした。

C品 300個 @¥300 ¥90,000

16日 ZZ商店から仕入れた商品の一部に欠損があったため返品した。

C品 10個 @¥300 ¥3,000

23日 YY商店に商品を売り渡し、代金は掛けとした。なお、発送運賃¥1,600は現金で支払った。

D品 200個 @¥460 ¥92,000

資料

- ・総勘定元帳の番号は、売掛金が3、買掛金が12、売上が35、仕入が41である。
- ・売掛金元帳(Y Y商店)の番号は売1、買掛金元帳(Z Z商店)の番号は買3である。
- ・他に、特殊仕訳帳として現金出納帳、売上帳、当座預金出納帳を設けている。

(2) 次の取引の仕訳をしなさい。

① ○○電気商会の本店は、青森支店が弘前支店に現金¥300,000を送付したとの通知を受けた。
ただし、本店集中計算制度を採用している。(本店の仕訳)

② 試用販売のため、△△商店に次のA品とB品を送付していたが、本日A品が返送された。なお、B品についてはまだ買い取りの意思表示はされていない。ただし、商品を送付したときに試用品・試用仮売上の対照勘定を用いて備忘記録をしていた。

A品 ¥200,000 (売価) B品 ¥150,000 (売価)

③ 売買目的で保有している○△株式会社の社債 額面¥6,000,000(帳簿価額¥5,700,000)のうち、その3分の1を@¥98で売却し、代金は端数利息¥20,000とともに当社の当座預金口座に振り込まれた。

④ 個別原価計算を採用している○○工業株式会社は、次の製品を受注先に発送した。よって売上高および売上原価を計上した。

	製品A (製造指図書#1)	製品B (製造指図書#2)
売上高(掛け)	¥2,000,000	¥1,500,000
製造原価	¥1,200,000	¥1,050,000

⑤ 工程別総合原価計算を採用している○○製造所では、月末に工程別総合原価計算表を作成し、各工程の完成品原価を次のとおりに計上した。なお、各工程の完成品はすべていったん倉庫に保管しており、第1工程完成品20個のうち15個を第2工程(最終工程)に投入している。ただし、月初に第1工程完成品の在庫はなかった。

第1工程 ¥200,000 第2工程 ¥300,000

(全7枚中の4枚目)

② 高等学校 商業

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(3) 次の当座預金出納帳は、誤った記入がある。訂正例を参考にして、取引内容を元に誤りを訂正しなさい。ただし、摘要の欄については、省略してある。なお、解答用紙への記入は、訂正箇所に線を引き、その上に正しい内容を記入すること。

訂正例 200,000 いろはに
~~400,000~~ ~~あかさた~~

当座預金出納帳

4

平成 ○年	摘要	預入	引出	借または貸	残高
	前ページから	200,000		借	200,000
7	4		80,000	借	120,000
	15		120,000	借	0
	20	200,000		借	200,000

取引内容

- 7月 4日 取引銀行から、小切手#7を振り出して現金¥80,000を引き出した。
- 15日 仕入先への買掛金の支払いとして、¥180,000の小切手#8を振り出して渡した。
ただし、銀行とは¥500,000を限度とした当座借越契約を結んである。
- 20日 得意先から、売掛金の回収として¥200,000が当店の当座預金口座に振り込まれた。

5 下の表はある企業の販売情報である。表をもとに解答用紙の商品ポートフォリオを作成し、各商品を4分野に分類して分析しなさい。

(単位:千円)

商品名	前期売上高	今期売上高	売上成長率	売上構成比率
A	9,521	14,611	53.5%	9.3%
B	27,978	33,546	19.9%	21.5%
C	35,123	46,189	31.5%	29.6%
D	14,820	15,366	3.7%	9.8%
E	9,235	10,222	10.7%	6.5%
F	7,548	9,014	19.4%	5.8%
G	19,635	27,357	39.3%	17.5%
合計	123,860	156,305		100.0%

6 授業で為替手形を説明する際に、生徒が理解しやすいよう板書で図と仕訳例を示しながら説明したい。どのように板書するか、説明と合わせて書きなさい。

② 高等学校 商業

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

7 次の表は、〇〇温泉旅館の予約受付表を表計算ソフトで作成したものである。次の(1)～(6)に答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	〇〇温泉旅館予約受付表													
2	受付番号	お申込日	ご到着日	ご出発日	宿泊数	部屋区分	大人	子供	人数計	大人料金	子供料金	合計料金	早期予約割引料金	請求金額
3	A1001	5月30日	8月1日	8月4日	3	A	2	1	3	¥35,000	¥21,000	¥91,000	¥9,100	¥81,900
4	A1002	6月23日	8月2日	8月4日	2	A	2	0	2	¥35,000	¥21,000	¥70,000	¥3,500	¥66,500
5	B1003	6月24日	8月3日	8月6日	3	B	2	2	4	¥28,000	¥14,000	¥84,000	¥4,200	¥79,800
6	A1004	7月3日	8月2日	8月4日	2	A	1	0	1	¥35,000	¥21,000	¥35,000	¥0	¥35,000
7	C1005	7月4日	8月4日	8月7日	3	C	3	0	3	¥21,000	¥8,400	¥63,000	¥3,150	¥59,850
8	A1006	7月7日	8月1日	8月3日	2	A	1	1	2	¥35,000	¥21,000	¥56,000	¥0	¥56,000
9	B1007	7月12日	8月3日	8月6日	3	B	2	2	4	¥28,000	¥14,000	¥84,000	¥0	¥84,000
10	C1008	7月13日	8月4日	8月6日	2	C	4	0	4	¥21,000	¥8,400	¥84,000	¥0	¥84,000
11	B1009	7月22日	8月3日	8月6日	3	B	2	0	2	¥28,000	¥14,000	¥56,000	¥0	¥56,000
12	A1010	7月23日	8月2日	8月4日	2	A	2	1	3	¥35,000	¥21,000	¥91,000	¥0	¥91,000
13														
14														
15														
16	合計								28			¥714,000	¥19,950	¥694,050
17														
18	日別売上予定表				基本料金表(1泊)				割引表					
19	ご出発日	請求件数	請求金額	備考	部屋区分	基本料金	子供料金割引率	申込日～到着日までの日数	割引率					
20	8月4日	4	¥274,400	○	A	¥35,000	40%	0～30日前	0					
21					B	¥28,000	50%	31～60日前	5%					
22					C	¥21,000	60%	61～日前	10%					

※予約受付表の「部屋区分」「大人料金」「子供料金」「合計料金」「早期予約割引料金」「請求金額」は、「受付番号」が入力されている場合のみ表示し、それ以外は何も表示しないものとする。

※表計算ソフトの仕様

- ・関数、計算式の宣言は "=" で始まる。(例) =A1+B1
- ・選択範囲は ":" で指定する。(例) A1:B1
- ・絶対参照指定は "\$" で指定する。(例) \$A\$1:\$B\$1

(1) 「予約受付表」F列の「部屋区分」は、A列の「受付番号」の先頭1文字を抽出している。F3に設定する式を書きなさい。

(2) 「予約受付表」K列の「子供料金」は、F列の「部屋区分」をもとに「基本料金表」を参照して、「基本料金」から「基本料金」に「子供料金割引率」を掛けた金額を差し引いたものである。K3に設定する式をア～ウから選び、その記号を書きなさい。

- ア =IF(A3="", "", VLOOKUP(F3, \$H\$20:\$J\$22, 3))
- イ =IF(A3="", "", VLOOKUP(F3, \$H\$20:\$J\$22, 2)*VLOOKUP(F3, \$H\$20:\$J\$22, 3))
- ウ =IF(A3="", "", VLOOKUP(F3, \$H\$20:\$J\$22, 2)*(1-VLOOKUP(F3, \$H\$20:\$J\$22, 3)))

(3) 「予約受付表」M列の「早期予約割引料金」は、「割引表」をもとに合計料金に割引率を掛けた金額である。M3に設定する式をア～ウから選び、その記号を書きなさい。

- ア =IF(A3="", "", VLOOKUP(C3-B3, \$L\$20:\$N\$22, 3)*L3)
- イ =IF(A3="", "", VLOOKUP(D3-C3, \$L\$20:\$N\$22, 3)*L3)
- ウ =IF(A3="", "", VLOOKUP(D3-B3, \$L\$20:\$N\$22, 3)*L3)

② 高等学校 商業

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(4) 「日別売上予定表」C列の「請求件数」は、入力されたB列の「ご出発日」をもとに「予約受付表」からカウントしている。C20に設定する式をア～ウから選び、その記号を書きなさい。

- ア =COUNTA(\$D\$3:\$D\$12)
- イ =COUNTIF(\$D\$3:\$D\$15, B20)
- ウ =DCOUNT(\$D\$2:\$N\$15, D2, \$B\$20)

(5) 「日別売上予定表」D列の「請求金額」は、入力されたB列の「ご出発日」をもとに「予約受付表」から集計している。D20に設定する式を書きなさい。

(6) 「日別売上予定表」E列の「備考」欄は、D20の請求金額が、30万円以上であれば「◎」を表示し、15万円以上30万円未満であれば「○」を表示する。15万円未満は何も表示しない。E20に設定する式を書きなさい。

8 図1のようなあるクラス(40名)の小テストのデータを読み、点数の高い順に印字するプログラムの空欄(1)～(4)に適切なコードを記述しなさい。並べ替えには交換法を用いている。

<p>(図1) 入力形式</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th style="width: 50%;">氏名</th><th style="width: 50%;">点数</th></tr> <tr><td>(NAME)</td><td>(TEN)</td></tr> <tr><td>XX XX</td><td>999</td></tr> </table> <p>ファイル名: TEN-F レコード名: TEN-REC</p>	氏名	点数	(NAME)	(TEN)	XX XX	999	<pre> PROCEDURE DIVISION. N1. OPEN INPUT TEN-F OUTPUT LIST-F MOVE 0 TO EOF-SW PERFORM VARYING N FROM 1 BY 1 UNTIL EOF-SW = 1 READ TEN-F AT END [(1)] NOT AT END MOVE NAME TO TN(N) [(2)] END-READ END-PERFORM PERFORM VARYING L FROM 39 BY -1 UNTIL L < 1 [(3)] COMPUTE K = J + 1 IF TT(J) < TT(K) THEN MOVE TTEN(J) TO WK-TTEN [(4)] MOVE WK-TTEN TO TTEN(K) END-IF END-PERFORM END-PERFORM PERFORM VARYING N FROM 1 BY 1 UNTIL N > 40 MOVE TN(N) TO M-TN MOVE TT(N) TO M-TT WRITE LIST-REC FROM MEISAI AFTER 1 END-PERFORM CLOSE TEN-F LIST-F STOP RUN. </pre>														
氏名	点数																				
(NAME)	(TEN)																				
XX XX	999																				
<p>(図2) 出力形式</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th style="width: 50%;">(氏名)</th><th style="width: 50%;">(点数)</th></tr> <tr><td>XX XX</td><td>999</td></tr> </table> <p>ファイル名: LIST-F レコード名: LIST-REC</p>	(氏名)	(点数)	XX XX	999																	
(氏名)	(点数)																				
XX XX	999																				
<p>(図3) テーブル</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th colspan="5">TEN-TBL</th></tr> <tr><th colspan="2">TTEN(1)</th><th>~</th><th colspan="2">TTEN(40)</th></tr> <tr><th>TN(1)</th><th>TT(1)</th><th>~</th><th>TN(40)</th><th>TT(40)</th></tr> <tr><td>X(5)</td><td>9(3)</td><td></td><td>X(5)</td><td>9(3)</td></tr> </table> <p>※見出し部・環境部・データ部の記述は省略してある。</p>	TEN-TBL					TTEN(1)		~	TTEN(40)		TN(1)	TT(1)	~	TN(40)	TT(40)	X(5)	9(3)		X(5)	9(3)	
TEN-TBL																					
TTEN(1)		~	TTEN(40)																		
TN(1)	TT(1)	~	TN(40)	TT(40)																	
X(5)	9(3)		X(5)	9(3)																	

(全7枚中の7枚目)

⑫ 高等学校 商業

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

9 現行の高等学校学習指導要領について、次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 「商業」の科目「簿記」の目標について、次の①～⑤にあてはまる語句を書きなさい。

企業における取引の記録・計算・整理に関する(①)と(②)を習得させ、簿記の基本的な仕組みについて理解させるとともに、(③)の諸活動を(④)に把握する能力と(⑤)を育てる。

(2) 「商業」の科目「文書デザイン」で取り扱う内容をア～コから5つ選び、その記号を書きなさい。

- | | | |
|-------------------|------------------|-----------------|
| ア 図形ソフトウェアの活用 | イ 情報モラルとセキュリティ管理 | ウ ビジネス計算と表の作成 |
| エ 商業文書 | オ マルチメディアの活用 | カ 広報活動と文書 |
| キ プレゼンテーション | ク ワードプロソフトウェアの活用 | ケ 情報通信ネットワークの活用 |
| コ データベースソフトウェアの活用 | | |

(3) 「総則第6款の4の(2)のア」に「職業に関する各教科・科目については、実験・実習に配当する授業時間を十分確保するようにすること。」とあるが、「商業」ではどのようなことに配慮が必要か説明しなさい。